

山陽小野田市観光振興プラン概要

第1章 プラン策定にあたって

- 1 これまでの経緯等
「観光振興ビジョン」の策定とその後の展開
- 2 プランの性格
観光に関する個別計画、多様な関係者が協創していくための指針

第2章 現状と課題

- 1 観光を取り巻く現状、国や県の取組
国内旅行市場の概要、国及び県の動向
- 2 本市の現状、取組の成果、課題
観光客数の推移、観光客の状況及び現行ビジョンに基づく取組成果・課題の検証

- 【基本戦略1 観光資源の魅力向上と利活用】**
課題：周遊ルートの構築やPRが十分にできていない、名産品のブランド化に至っていない等
- 【基本戦略2 情報発信・PRの充実】**
課題：情報発信量が不十分等
- 【基本戦略3 推進体制の充実とホスピタリティ向上】**
課題：おもてなしサポーターの登録人数が伸び悩んでいる等
- 【基本戦略4 広域連携の推進】**
課題：滞在時間の長期化という目的のためのメリットは十分活かせていない等

- 3 観光プロモーション調査により抽出された課題
ハード：案内板、サインが分かりづらい等
コンテンツ：観光スポットと認識されているところが少ない、滞在時間も消費額も少ない等
情報：情報が探しにくい、マーケティングやターゲット設定などが不十分等
人・組織：地域内に観光コーディネーターが不在等

第3章 今後の方向性

1 基本的な考え方

- (1) 観光振興に取り組む目的

本市に関わる全ての人が誇りと愛着を持つことができる
活力に満ちたまちの実現に寄与すること

- (2) 観光まちづくりによって目指す姿

暮らす人、営む人、訪れる人の笑顔があふれるまち山陽小野田

- (3) 優先事項を表現した観光まちづくりのスローガン

※新たなプランを策定する上でのキーワード

「魅力の発信」、「交流人口の増加」、「地域経済への波及効果」

認知、体感、消費でスマイルUP!

2 計画期間

令和2年度～令和7年度の6年間
(第二次総合計画の基本計画(中期)との期間整合を図るため6年間とし、3年目の段階で大幅な計画変更が生じた場合は改定する)

3 目標指標

目標指標	現状値(H30)	目標値(R7)
本市への観光入込客数	1,072,438人	1,200,000人
一人当たりの平均観光消費額	2,339円	3,000円

4 観光戦略体系の設定

基本戦略1 魅力ある観光地づくりの推進

基本戦略2 情報発信・PRの充実

基本戦略3 推進体制の充実とホスピタリティ向上

基本戦略4 広域連携を活かした観光地としての
(横断的)のステージアップ

5 ターゲティング(標的市場の設定)等

- コアターゲット 生活や仕事の変化に直面し、暮らしを見つめ直す
30～40代女性
(エリアは宇部、下関、北九州、山口等)
- サブターゲット 年代や性別を問わず、コアターゲットと同様に、ある程度旅の経験などがあり、能動的に情報を検索したり、遊び方を考えられる層
(エリアは、県内、広島県及び北部九州)
- キーワード 「いつもとは違う“となり町の日常”」
「日常のおすそ分け」
「山陽小野田市の心地よい暮らし」など

第4章 施策体系

1 戦略ごとの施策

基本戦略1 魅力ある観光地づくりの推進

評価指標	現状値(H30)	目標値(R7)
観光消費額(日帰り)【再掲】	2,339円	3,000円
観光消費額(宿泊)	26,065円	27,000円
山陽小野田名産品認定数	36品	40品

- (1) 観光資源のブラッシュアップ、高付加価値化
- (2) モデルルート、過ごし方の提案
- (3) 移動手段等の利便性の向上
- (4) 名産品、特産品の充実

基本戦略2 情報発信・PRの充実

評価指標	現状値(H30)	目標値(R7)
本市への観光入込客数【再掲】	1,072,438人	1,200,000人
観光協会ホームページ及びSNSの閲覧数	75,340回	100,000回
県内外での観光及びPRの出席件数	17件	20件

- (1) 共感を生むプロモーション
- (2) 情報導線のデザイン
- (3) 見せ方、伝え方のデザイン

基本戦略3 推進体制の充実とホスピタリティ向上

評価指標	現状値(H30)	目標値(R7)
おもてなしサポーターの登録人数	21人	100人
観光ボランティアの登録人数	21人	30人

- (1) 市場動向の把握
- (2) 観光まちづくりの風土づくり、おもてなし気運の醸成
- (3) 観光推進組織の強化、充実
- (4) ガイドシステムの充実
- (5) 観光案内機能の強化

基本戦略4 広域連携を活かした観光地としてのステージアップ

評価指標	現状値(H30)	目標値(R7)
他団体と連携したツアーの実施回数	8回	20回
通訳ボランティアの登録人数	0人	10人

- (1) 県、県観光連盟等との連携推進
- (2) 山口県央連携都市圏域事業の推進(山口ゆめ回廊博覧会等)
- (3) 近隣市等との連携推進(産業観光等)
- (4) インバウンドの推進

2 施策の全体計画 6年間の年次計画

第5章 役割分担

【行政】

- ・観光振興施策の策定、実施
- ・市民、関係団体、関係事業者との連携促進
- ・行政の各分野における観光振興との連携
- ・他の自治体等との連携

【関係団体に期待される役割】

- ・観光振興施策を進める中核的な存在としての事業展開
- ・おもてなしの気運の醸成

【関係事業者に期待される役割】

- ・積極的な事業展開及びサービスの提供
- ・他事業者と連携した魅力ある観光コンテンツの創出

【市民に期待される役割】

- ・地元への誇りと愛着の醸成及び魅力発信
- ・来訪者に対する温かいおもてなしの実践